

## 勝山市総合行政審議会（第13期第3回） 結果概要

開催日時：平成26年9月24日（水）

午後7時～午後9時

開催場所：教育会館3階 第3研修室

出席者等：出席委員等13名

事務局 企画財政部未来創造課

### 議 題

#### （1）前回会議での修正事項について

##### ○事務局

- ・政策基本目標管理外部評価の修正箇所について

① 122. 効率的、効果的な財政運営のバランスシートの作成、活用について、平成25年度の取組結果欄にバランスシート作成が遅れた理由の記載を追加。 委員了承

② 242. 子育て環境の充実の次世代育成支援地域行動計画の事業推進について、平成25年度の取組結果欄にアンケート調査の概要の記載を追加。 委員了承

同項目の評価については、前回会議から持ち越されたが、去年の評価と比較し、内容が似ているため「4」のままとする。

#### （2）平成25年度勝山市政策基本目標管理外部評価について

### 第3章 にぎわいと産業の振興、連携による持続可能なまちづくり

#### 3.3. 内水面漁業の振興の評価について（意見はなし）

##### ●会長

- ・内部評価についてはこれでよろしいか。

##### ●委員

- ・異議なし。

## 3 4. 商工業の推進

### 3 4 2. 地元企業への支援 について

#### ●委員

- ・ものづくり技術・研究開発支援制度の充実について、評価点はこのままでよいと思う。申請者は事業者であり、それなりの効果も出ている。NPOでもコミュニティビジネス始めたいという意欲を持っているところがあるが、この支援制度をNPOは利用できない。事業の内容は、地元のものを使った商品開発をしたいということなので、NPOも支援を受けられれば、たいへんよい支援制度になると思う。未来創造課のわがまち魅力発酵事業もあるが、NPOは市民団体という位置づけで補助を受けることができるのか。市の助成金の使いやすさ（区分け）を考えて、整理して欲しい。県のものづくり支援事業はNPOも受けることができるため、そちらが積極的に活用されている状況である。わがまち魅力発酵事業においてもコミュニティビジネス部門を設けてもらえれば、支援を受けるに際し、分かりやすい。

#### ○事務局

- ・「非営利目的」という点からNPOは申請できないというのが当初の目的だが、そういった必要性も鑑み、担当課に検討課題として伝える。わがまち魅力発酵事業については一般の部だと40万円の補助になってしまう。実情をお聞きしたので、支援制度について早めに整理したい。

### 3 4 3. 起業家の育成・支援 について

#### ●委員

- ・インキュベート施設の活用について担当評価点「3」は妥当だと思う。平成24年度には、4つある部屋は満室だったのが、現在は1室しか借りられていない。インキュベートとはどういうものなのか市民の皆さんは知らない。「チャレンジショップ」みたいな名前だと分かりやすい。施設は賃貸無料であり、共益費や電気料がかかるくらい。ニーズはありそうだが、PR不足ではないか。例えば不動産屋のように「入居募集」とか「無料」と窓際に貼り出せば分かりやすいのではないか。

#### ○事務局

- ・確かに分かりにくい。そういったご意見を担当に伝え、施設の有効活用に努めたい。

#### ●委員

- ・たしかにインキュベートという言葉では何のことかわからない。

#### 3 4 4 企業誘致の推進 について

##### ●委員

- ・企業誘致の推進の評価点について「3」となっているが、担当課評価では「できた」と記載してあるので、記載内容と一致していないのではないか。

##### ●委員

- ・同感である。内容を読んでも「3」では評価点が低い気がする。

##### ○事務局

- ・低い理由として、新規の企業誘致が平成25年度は無かったため「3」とした。企業誘致活動自体は行っており、工業振興助成金も活用いただいている。新規設備投資等にも助成金を出しているが、新規企業誘致については実績が乏しく「3」とした。

##### ●委員

- ・起業家育成や企業誘致は簡単ではない。これだけの課題を作って、高いハードルを設けているので、もう少し評価を上げてよいのではないか。

##### ●委員

- ・施策指標「市外からの企業誘致による新規雇用者数」の実績について、8人から変わっていない。そういった面を踏まえて、評価「3」としたのではないか。

##### ●事務局

- ・施策指標については、累計となっており、平成25年度については新規の雇用増は無かったということである。

### 3 4. 商工業の推進の評価について

##### ●会長

- ・3 4 4 企業誘致の推進 について外部評価を「4」としてよろしいか。

##### ●委員

- ・異議なし。

### 3 5. 観光の振興

#### 3 5 1. 着地型観光による誘客の推進 について

##### ●委員

- ・「4」の評価はどうかと思う。ゆめおーれはよく頑張っていると思うが、まちなかの魅力と賑わいの創出とまちの駅の充実とネットワークの強化についてはうまくいったのかどうか。特に、まちの駅について、どのように機能している

のか知りたい。

観光プロデューサー企画の推進については、市としてプロデューサーを雇用し、平泉寺で勝山Web大使（DANCEROID）が踊っている企画等、斬新な企画で全国広報を実施しているが、市民はどれだけ認識しているのか。

ジオパークについてもよく頑張っていると思うがfacebookでのPRを、はたしてどれくらいの人が見ているのか。ジオパークとエコミュージアムは同じものだと思う。なんとか併合する方向に持っていけないものか。そういう意味で「4」の評価はどうかと感じた。

- 施策指標年間の観光消費額について、どういう風な統計によって出しているのか。何に22億の消費があったのか内訳を知りたい。県立恐竜博物館のおかげなのか、普段来ないような県外客がまちなかのお蕎麦屋さんに来ている。観光客がどういう風な消費をしているのか知りたい。

#### ● 委員

- 商工振興課並びに観光政策課の政策は、次の世代の子どもたちが勝山に残ることにつながる、特に大切なものである。商工会議所も一生懸命やっているが、行政との連携が弱い部分もたまに見られる。商工振興課と観光政策課は市の未来のために特に大切な課であり、これからは評価点が全部「5」になるように重点的に取り組んでほしい。市の生命線であると思う。

### 353. 観光営業の強化 について

#### ● 委員

- 評価点を「3」と評価した理由がよく見えない。

#### ○ 事務局

- 1番大きな理由として、市内看板等の効果的な設置について、市の長年の課題であるが、なかなかうまく進まないというところがある。

#### ● 委員

- 了解した。担当課評価欄に経緯を記載してほしい。

#### ○ 事務局

- 担当課評価欄の標記を修正する。

#### ● 委員

- 評価欄には「観光客の増加につなげることができた」と記載してあるが、取り組みをみると積極的に何をしたのかが見えない。市にとって重要な項目であり、取組内容について、もう少し何をしたのか具体的に書いてほしい。

#### ○ 事務局

- フィルムコミッションでは「恐竜せんせい」や「サクラサク」などで成果があった。学生合宿についても数値は伸びている。

●委員

- ・学生合宿補助制度の充実について、学生の宿泊が市にとってどれほどのメリットがあるのか。

○事務局

- ・学生合宿についてはアンケートを実施している。スポーツ活動以外にどこへ行ったのか等を伺っている。一番大きいのは地元に戻った時の口コミPRだと思う。リピーターも多いのでそういう面で良いことだと思う。

354. 広域観光の展開 について

●委員

- ・評価点を「3」と評価した理由がよく見えない。施策目標の数値が減少しているからなのか。

○事務局

- ・広域観光についてはそれぞれパートナーが違うため、目的は同じなのに組織が違うということで、市だけでは内容を決められないことも多々ある。なかなか効果的に広域観光が展開できていないということで、昨年度は「4」の評価であったが、今年度は「3」に落としたということである。
- ・連携相手が、大野市であったり石川県であったりする。また他市同士でも別途連携をしているという状況である。一番良いのは福井県観光連盟が統括して、効果的に活動していくとよい。

35. 観光の振興の評価について

●会長

- ・内部評価についてはこれでよろしいか。

●委員

- ・異議なし。

第4章 美しい環境や景観の中で便利で快適に暮らせるまちづくり

41. 効率的で人にやさしい都市基盤の整備

413. 公園緑地の整備 について

●委員

- ・中央公園の整備は現在どういう状況なのか。大規模に実施するようなことを聞いて

たことがある。

○事務局

- ・計画はあり、実施設計まではできているが、どうしても国の補助事業の関係上、先送りとなっている。新体育館事業についても国補助を受けているが、長山公園整備の位置づけで実施しており、中央公園まで手がまわらないのが実情である。

#### 4 1. 効率的で人にやさしい都市基盤の整備の評価について

●会長

- ・内部評価についてはこれでよろしいか。

●委員

- ・異議なし。

#### 4 2. 人にやさしい交通体系の確立の評価について（意見なし）

●会長

- ・内部評価についてはこれでよろしいか。

●委員

- ・異議なし。

#### 4 3. 環境や景観に配慮したまちの実現

##### 4 3 1. 循環型社会の構築 について

●委員

- ・市では「環境都市宣言」みたいなものはやっているのか。

○事務局

- ・「エコ環境都市」というものを目指している。

●委員

- ・評価点は「3」となっているがどうか。

○事務局

- ・施策指標のひとり1日当たりのごみの排出量は目標を超え、どんどん増えている。リサイクル率も目標に届いていない。市は平成18年よりごみ処理を広域で行っている。ゴミの減量化が経費削減につながるのに、ゴミは増えている。（人口は減少しているのに総量はそんなに変わらないが、1人当たりだと増えている。）

●委員

- ・観光客から生じるゴミも含まれているのであれば、その数を除けば数値は減る可能性もある。

○事務局

- ・一番増えているのは、家庭からの持ち込みゴミである。大野市とあわせて（事業者除く）1年間の持ち込み台数は45,000台となっている。ビュークリーンは平成18年から営業を始めたが、その頃と比較して台数は倍増している。様々なものが持ち込み可能（福井市と違い不燃物もOK）であり、料金も安い。やはり個人の持ち込みの増大が顕著である。

●委員

- ・坂東島のごみ施設が使えなくなり、その時は分別をきちんと行っていた。現在、その必要はなくなったが、その部分でなにか影響が出ているのか。

○事務局

- ・平成11年に勝山市クリーンセンターは稼働をやめ、分別は厳しくなった。他市では現在も行われている。現施設はゴミを蒸して、炭化させ量を減らす。それをさらに1,200℃に加熱して燃やし、発生したスラグが路盤材として売れる。それにより埋め立ても減っていくのだが、持ち込み自体が増えている状況である。

●委員

- ・各家庭への対策は何か行っているのか。

○事務局

- ・家庭に対する取組みは、大野・勝山両市で組織する広域行政事務組合で協議している。合同会議を実施しており、それぞれの市が結果を受けて、減らすようPR活動をしている。

●委員

- ・ゴミ袋は有料か。

○事務局

- ・そうである。ただし、1袋いくらというような処理料は徴収していない。

●委員

- ・これまで、1人当たりのごみ量が多いと聞いたことはあったが、なんとかしてほしいと言われたことはない。市民に対し、勝山市のごみの現状を配布物等で、どんどんPRすればよいと思うが、そういった取組みが見られない。ぜひ実施していただきたい。また、色々な会議案内について、対応できる方については、紙ベースでなくメール等での連絡形式にしていく方法を考えていただきたい。

●委員

- ・当会議の案内も口頭で伝えてもらうだけで十分である。蔵にどっさり不要なゴミがあり、今後備えて、自分でこつこつと運んでいるが、そういうものが増えて

いるということなのか。

○事務局

・そういうことである。

●委員

・高齢者が増えることで、どうしてもお亡くなりになる方が増え、その整理等でごみ量はどんどん増えていくのではないかと思う。リサイクル率は県下トップクラスであり、目標設定自体が高すぎるのではないか。

●委員

・目標設定はどういった形で行っているのか。設定が高すぎて、評価点が悪くなるものがある気がする。

○事務局

・平成18年に施設ができてから、平成21、22年くらいまでは、ごみ量は減少していたため、もっと頑張ろうということで目標設定したところ、以降は増加をし始めたという状況である。

●委員

・それにしても県下トップの水準であるのだから「4」でもよいのではないか。

○事務局

・高い水準を維持しているものの、過去の厳しい分別をしていたころから比べ、だんだん楽になり、油断がでているところもあるのが現状である。

●委員

・市のHPや広報に反復的に載せただけでは、情報が素通りしてしまう気がする。本気度が伝わらない。違った形での周知活動が求められていると思う。もう少し取組みの部分で頑張れるところがある気がする。

○事務局

・広報は全世帯に配布するものなので、現時点では広報が一番有効であると考えている。広報を中心に色々な手段を検討したい。

#### 4.3. 環境や景観に配慮したまちの実現の評価について

●会長

・内部評価についてはこれでよろしいか。

●委員

・異議なし。



#### 4.4. 快適で雪に強い定住環境の実現の評価について（意見なし）

- 会長
  - ・内部評価についてはこれでよろしいか。
- 委員
  - ・異議なし。

### 第5章 豊かな人間性とたくましさをもったひとを育むまちづくり

#### 5.1. 望ましい教育の実現

##### 5.1.1 教育環境の整備・充実 について

- 委員
  - ・評価点について「3」としているのは小中学校の統廃合が進まない部分で、行政側としてできていないという思いがあるのだろうが、市民としては望んでいないところもあり、当分の間平行線である。その場合、このままの評価が続いてしまう。どちらかという、中学校での部活の少なさや免許外教科担当教員等の内在的問題に対してどれだけ取り組んだのか、どう取り組むのかという評価に切り替えるべきではないか。今、取り組むことができる中学校の課題に対して、どれだけ解決に向けて頑張っているのか。評価の観点を変える必要があるのではないか。国の動向を見極めながら幼保一元化の推進についても、国の動向が影響する時点で同様である。時代に即したICT環境の整備と教育用コンテンツ等の整備及び学校耐震化工事にあわせた省エネ改修の項目については、よくやってくれていると実感している。  
小中学校の再編や幼保一元化については、今できることをどれだけやっているのか具体的に示して、評価をした方がよいのではないか。
- 事務局
  - ・中学校再編については平成25年6月に方針を発表した。平成31年度に結論を出し、平成36もしくは37年度にそれを形にするということにして先送りをした。ご指摘のあった専門科目の教師不在や部活の選択肢が少ないという点について、平成25年秋には県にきちんと専任教師の配置をいただいた（家庭科）。部活については、学校域を超えて、勝山アスリートクラブのような団体を市として支援としている。それ以外の状況については担当から再度説明する。評価については、事務局も「3」は低いのではないかと思い再度確認したが、特に、小学校の今後について手つかずとなっていることから、教育委員会の判断で評価を「3」

のままとした。各学校の耐震化は計画したとおり、きちんと進んでいる。

#### 5 1 2. 心豊かでたくましい児童・生徒を育てる学校教育の充実 について

##### ●委員

- ・担当課評価欄に記載のあるE S Dとは何のことなのか。

##### ○事務局

- ・「持続可能な発展のための環境教育」を指している。前園先生に協力もいただいて、子ども達の実践を通じた環境教育に取り組み、それが実を結んで平成26年度には市内の全小学校がユネスコスクールに認定された。その辺りはかなり成果があったところである。

#### 5 1 3. 「生きる力」を育む市民活動の展開 について

##### ●委員

- ・評価は「4」となっているが、担当課評価の内容を見ると、なぜ「5」でないのか。

##### ○事務局

- ・100%以上の達成ではないということである。

### 5 1. 望ましい教育の実現の評価について

##### ●会長

- ・内部評価についてはこれでよろしいか。

##### ●委員

- ・異議なし。

### 5 2. 歴史遺産を活かしたまちづくりの実現

#### 5 2 1. 国史跡白山平泉寺旧境内を中核にすえたまちづくり について

##### ●委員

- ・南谷の僧坊跡については自然環境を残して、大変よい整備ができたが、今後の維持管理はどうしていくのか。地元の方やボランティア等、より安価な方法も模索しながら、今後のことをよく考えて、維持管理に取り組んでほしい。訪れる方のことを考えると、今の状況では2、3年後が不安である。特にああいった区域は都市公園とは違うため、より考えられた方策をとる必要がある。

○事務局

- ・管理について、地元への願いはしていないと思われる。ご指摘を担当課にきちんと伝える。

## 5 2. 歴史遺産を活かしたまちづくりの実現の評価について

●会長

- ・内部評価についてはこれでよろしいか。

●委員

- ・異議なし。

## 5 3. 生き生きと学ぶ生涯学習の推進の評価について（意見はなし）

●会長

- ・内部評価についてはこれでよろしいか。

●委員

- ・異議なし。

## 5 4. 豊かな心と感性を育む文化芸術の振興

### 5 4 1. 伝統文化の保存継承について

●委員

- ・伝統文化継承講座の開催について、伝統料理や左義長についての講座等を一生懸命実施しているのはよく分かるが、これ以外にも色々な伝統文化がある。たとえば勝山にわかや小笠原藩に関係する長柄おどりは貴重なものだが、活動が消えつつある。継承する活動をしていかなければならない。こういう伝統をどう保存していくのか。

○事務局

- ・担当課より説明する。

#### 5 4. 豊かな心と感性を育む文化芸術の振興の評価について

- 会長
  - ・内部評価についてはこれでよろしいか。
- 委員
  - ・異議なし。

#### 5 5. 生き活きと輝くスポーツの振興

##### 5 5 1. 競技スポーツと生涯スポーツの推進 について

- 委員
  - ・自転車バイクナビの充実について、グランfond福井及びサイクルフェスタのような自転車競技は今後なくなるということなのか。その場合には「充実」という表現はおかしい気がする。
- 事務局
  - ・いずれも市の事業ではない。サイクルフェスタはSKI JAMが主催であり、グランfondは実行委員会が主催している。特に、グランfondについては安全管理面で大変危険であったことから、実施後に問題点を鑑み、市だけでは支援が厳しいということで中止を決定した。サイクルフェスタについても平成25年度で終了した。
- 委員
  - ・費用対効果の面で、市の予算計上はどうなっているのか。
- 事務局
  - ・グランfondは補助金を交付していた。サイクルフェスタについては、人的支援のみである。
- 委員
  - ・次年度からはこの項目はなくなるのか。
- 事務局
  - ・子どもたちの競技として、ちびっこストライダーというイベントがかつやま恐竜の森で開催されており、これをバイクナビと位置付け、今後支援を続けていく。

##### 5 5 3. 平成30年国民体育大会の開催 について

- 委員
  - ・平成30年度のバドミントン競技とクレール射撃競技の本大会開催について、クレール射撃競技が勝山市で開催されるということで整備が進めてられている。現在、

市でクレー射撃の活動をしている方はいるものの高齢化が進んでいる。若手育成につながる支援策を考えていただきたい。今年、市のクレー射撃協会により大会が開催されたが、参加者はわずかであった。もう少し国体の盛り上げに向けて、市から支援（声かけ）をしてほしい。

○事務局

- ・次回、担当課から説明できることがあれば、説明をする。

●会長

- ・全体をとおして、再度委員の意見を伺う。

4 3 4. 景観形成の推進 について

●委員

- ・景観を阻害する空き家（不在家屋）対策の検討について、市内を見渡すと空き家がかかり存在している。個人的な感覚では、危険性を感じるものもみられる気がするが、危険度点数が基準点数を上回ったものがなかったとなっている。この基準はどんなものなのか。

○事務局

- ・補助金の補助要件として、危険度点数に達しないといけない。記載してあるものは問い合わせがあったところについては該当しなかったということである。市内には400件程度の空き家が存在しているが、全部が危険度点数に達していないということではない。

●委員

- ・空き家の所在地は基準に入っているのか。市街地や中山間地域によって判断基準は異なるのか。

○事務局

- ・あったと思うが、担当課に説明させる。特に所有者の方がおられないところが手の施しようがないという状態である。

5 4 1. 伝統文化の保存継承 について

●委員

- ・左義長について、13地区が活動している。そのうち上郡地区については、集落数は20戸程度であり、唯一櫓会館がない。高齢化もあり、櫓を建てること自体も大変になっているが、そういった地区の活動がそのまま消滅してしまうのはどうか。伝統文化継承講座の中で、そういった部分をどうしていくのかという考えも盛り込んでいってほしい。

○事務局

- ・左義長は市を代表するイベントであり、とても大切だと認識している。平成25年度から13区で左義長を継続していくにはどうすべきか、課題について調査し、洗い出しをしている。櫓及び櫓会館の整備等もその中で考えていくべきであり、さらに最も重要なものは担い手の問題である。市も一緒になって考えており、きんと対応する。

以 上